

第 4 次総合計画 2021 年度（令和 3 年度）の取組に係る 効果検証の手法について

1 効果検証の手法（案）

- ① 4～5 月 前年度実績を取りまとめ、自己評価を実施（事務局による検証）
- ② 6 月 総合計画策定・推進本部会議を開催（本部会議による確認）
- ③ 7 月 町広報誌に進捗状況レポートを掲載し、町民へお知らせするとともに、町民アンケートを実施（町民による検証）
- ④ 10 月 総合計画策定・推進本部会議を開催（町民アンケートの結果確認）
- ⑤ 10～11 月 総合計画策定・推進協議会を開催（協議会委員（町民代表、関係団体等）による検証）
- ⑥ 11～12 月 議員報告会を開催（議員による検証）
- ⑦ 12～2 月 検証結果や意見などを踏まえた次年度事業（予算）の編成（検証結果の反映）
- ⑧ 1 月 町広報誌に町民アンケート結果を掲載（町民による確認）
- ⑨ 3 月 次年度予算の議決（議会による検証結果反映の審査）

2 課題

（1）町民アンケートの手法について

本年度の町民アンケートでは、以下の課題がありました。

- ① 回答率が 11.6%（453 人／3,894 人）と少ない。
 - ② 60 歳以上の回答が 7 割以上（319 人／453 人）と偏っている。
 - ③ 記載いただいた意見が、実際に実施している事業や方向性に対する内容ではなく、方向性の定まらない、個人の考えである内容も多くあった。
- これらを改善するため、令和 4 年度においては、以下のとおり実施することを検討しています。

- ① 調査対象 全町民。
→ 年齢・性別ごとに無作為抽出した町民。
- ② 調査方法 町広報誌に挟み込み、全世帯への調査票を配布。調査票の返信及びネットで回答。
→ 抽出した町民へ郵送。調査票の返信及びネットで回答。
- ③ 調査人数 約 3,900 人。
→ 約 1,000 人（8 つの年代、男女）。
- ④ アンケート用紙 共有ビジョン各項目に加え、自由記述欄に近い「御意見・御感想」欄あり。
→ 共有ビジョンや総合計画に関する意見をいただきたいことに加え、縛りがない自由記載だと突拍子もない意見も出てくるため、共有ビジョン各項目の「御意見・御感想」欄のみ設ける。
- ⑤ 添付資料 記入の手引き。
→ 記入の手引きに加え、町の取組がわかる資料も追加。

（2）アンケート回答結果及び意見に対する対応

令和 3 年度と同様に、関係する各課局と情報共有し、各課局内で優先度等も勘案しながら、対応方針を検討します。なお、いただいたご意見に対する対応方針も、町 HP にて公開することとします。

また、その検討内容を踏まえ、次年度事業を編成します。